

2021年12月22日

あいおいニッセイ同和自動車研究所

2021年度12月火災・防災訓練について(東富士センター)

国内では緊急事態宣言の解除以降、コロナウイルスによる感染者数は減少へと向かい、今年度では最少の感染者数となる状況に至っています。県内でも感染者数は一桁にとどまる日が多くなり、メディアは連日減少の状況を放送しています。しかし、隣国の韓国では感染者は増加し11月24日には過去最多となる4,000人を超え、更なる感染者増へと状況は深刻化し12月に入り感染者は7,000名を超える事となりました。今世界では新たな変異株の発生により、世界的レベルでの感染の火種になるのではと危惧されています。現在国内では沈静化に向ってはいますが、コロナウイルスは更に変異進化を繰り返しその影響は今後も未知数です。新薬の開発やワクチンの追加接種等により、国内外の感染状況が鎮静化へと向かい感染者ゼロの日が望まれますが、まだまだ先が見えない状況であると言えます。弊社では、年2回実施している今年最後の火災・防災訓練についても前回と同じく、コロナウイルスへの感染リスクを回避する為、時間短縮・消火機器操作無し・ソーシャルディスタンス等三密回避の下に実施致しました。今後、消火訓練等も含めた以前のような訓練を、感染リスクの無い環境で実施するには、まだまだ多くの時間を要するのではないかと思います。



非常通報・館内避難放送



避難集合開始



集合点呼